

令和5年度外務大臣表彰式：大使挨拶

本日は、日本人のブラジル移住115周年という記念すべき年の節目に、令和5年度外務大臣表彰授与式をこのように開催できることを大変嬉しく思います。

今回の外務大臣表彰においては、当館管轄地域から1名と1団体が受章されました。外務大臣表彰の受章、誠にありがとうございます。それでは、皆様の御功績について紹介させていただきます。

全国工業職業訓練機構（SENAI）は、日本企業における職場環境の維持改善活動を取り入れつつ、ブラジル人労働者の質的改善と各業界のニーズに沿った人材育成に尽力し、1942年の設立以降8000万人の労働者を育成してこられました。1950年代からは日系企業の現地工場開設に際し、必要な人材供給を支えてこられました。一定の技術能力を備えた人材を安定的に採用することが可能となり、2021年には現地の日系企業の拠点総数が649拠点に達し、日本企業進出の後押しに貢献されました。現在ではアフリカ及びラテンアメリカにおいても人材育成に努め、我が国企業の同地域進出にも側面的に貢献されています。

ルイス・ニシカワ氏は、2015年からブラジル中西部日伯協会連合会の役員として、2019年から2022年まで会長として日ブラジル間の友好親善に尽力してこられました。会長就任後はブラジル中西部に所在する日系6団体の連携強化に尽力し、毎年開催される日本祭り及び2021年から開催されたアニメサミットの総指揮をとり、ブラジル社会における日本文化の普及、日ブラジル間の友好親善を促進する等、ブラジルにおける日系人の地位向上に大きく貢献されています。

改めて、この度表彰された方々の御功績に敬意を表し、また、御家族、御友人をはじめ、協力してこられた関係者の皆様に感謝し、お祝い申し上げます。

（了）